

化学療法処方せん

薬剤科 ← 外来・病

CPT11・FU・LV

___クール ___回目

処方医

RP.	実施日		月	日
	薬品名			
1	デカドロン(8)			V
	カイトリル		1	A
	生理食塩液100ml		100	ml
	... DIV(30分)			
デカドロン注を実施する場合は用量を記載して下さい				
2	トポテシン			mg
	ヴィーンF		500	ml
	... DIV(90分)			
3	アイソボリン注			mg
	5-FU			mg
	生理食塩液50ml		50	ml
	... DIV(全開)			
	(CPT11終了直後)			
4	生理食塩液50ml		50	ml
	... DIV(全開)			
	(フラッシュ用)			
検査値				
T-Bil	2.1mg/dl以上			
AST	異常値			
ALT	異常値			
TP	5.9g/dl以上			
ALB	3.9g/dl以上			
BUN	異常値			
Cr	異常値			
WBC	3000以上 1.2万未満			
RBC	貧血傾向			
HB	貧血傾向			
PLT	7.5万以上			
CRP	感染徴候あるときのみ			
前コースにWBC減少(1000未満)、高度な下痢(水様便)、排便回数の増加(10回/日以上)が認められた場合には、本剤の投与を中止してください。				
調剤	鑑査	受領者	入力	

石巻市立病院

看護記録			
	前	中	後
体重			
体温			
血圧			
吐き気・嘔吐			
下痢			
便秘			
血管外漏出			
PS			
疼痛			
実施者			

【禁忌】(必ず確認して下さい)

骨髄機能抑制のある患者
 感染症を合併している患者
 下痢(水様便のある患者)
 腸管麻痺、腸閉塞のある患者
 重篤な心疾患又はその既往歴のある患者
 間質性肺炎または肺繊維症のある患者
 多量の腹水・胸水のある患者
 黄疸のある患者
 塩酸アタザナビル投与中の患者
 アイソボリン、FU又はイリリテカンに対し過敏症の既往歴のある患者

WBC 3000未満
 PLT 75000未満
 急激な貧血傾向
 (RBC減少, Hb低下)
 TBil 2.1mg/dl以上
 感染症又はその疑い
 (CRP上昇, WBC増加)
 TP 5.9g/dl未満
 Alb 3.0g/dl未満
 下痢
 排便回数の増加 2回以上
 水様便, 腹痛



投与中止または回復
 するまで投与延期

白血球、血小板数が左記の値以上であつても前回と比較して急激な減少傾向のある場合は、投与を中止するか回復するまで延期する。
 前コースにWBC減少(1900~1000)、好中球減少(990~500)あるいは高度な下痢(水様便)、排便回数の増加(4~9回/日)、腹痛が認められた場合には、副作用の回復を確認後、投与量を20~25%程度減量して投与すること。